



2019年度

(2020年3月期)

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2020年5月11日

目次

1. 2019年度業績のハイライト	 p. 2
2. 2019年度決算の概要	 p. 3
3. 活動状況	 p. 4
(ご参考) 期末運航船舶数	 p. 5
当社当期純利益と株価の推移	 p. 6

※2020年度の業績見通しにつきましては、現段階で新型コロナウイルス感染症拡大などによる業績への影響を合理的に算出することが困難なため、未定とさせていただきます。今後業績へのさまざまな影響を見極め、合理的な算出が可能となった段階で速やかに公表いたします。

1. 2019年度業績のハイライト

前年度比減収減益。但し、下期は船隊整備の進展により収益構造が強化。

外航海運 支配船腹の計画的な入替えやSOxスクラバー搭載工事にともなう入渠などの船隊整備が着実に進み、下期は前年同期を上回る収益を確保しました。

ドライバルク : 大型船の平均用船料率は2019年央に日額3万8千ドルを超えましたが、年末以降は主要積地の悪天候や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う荷動き減少により大幅に下落。さらに燃料油価格の急落により約10億円の期末評価損を計上しましたが、これを除けば、計画された新造船投入や入渠による不稼働から復帰した船腹が収益に寄与し、下期損益は前年同期比で改善しました。

タンカー : 期首から堅調だった大型LPGタンカー (VLGC) は、冬場の需要期を迎え輸送需要が高まったことに加え、旺盛な出荷需要等が市況を牽引し、当社においても前年度比で大幅な増益となりました。

内航海運 総じて輸送量が伸び悩み、営業利益は前年度比で減益となりました。

ドライバルク : 新規バイオマス発電所向け燃料輸送を開始したほか、セメント関連貨物は前期比並みの輸送量を確保しましたが、鉄鋼原料・鋼材の輸送量は粗鋼減産や荒天の影響を受け大きく減少しました。

タンカー : LNG輸送は暖冬による電力需要低迷の影響を受けながらも効率運航に努め、前年度比で輸送量を伸ばしましたが、LPG輸送は工業用内需の低迷により輸送量が減少しました。

配当予想 期末35円（通期80円）といたします。

前述の燃料油評価損の他、第4四半期末に投資有価証券評価損10億円を特別損失として計上したことから、4月16日の開示の通り、期末配当金の予想を35円（通期80円）といたします。

2.2019年度決算の概要

通期連結決算

【連結】 (単位：億円)	2018年度							2019年度							対前年度 通期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	375	386	761	397	352	750	1,511	362	357	719	380	384	765	1,484	▲ 27
営業利益	19	29	48	25	17	41	89	15	14	29	29	12	41	70	▲ 19
外航部門	14	24	39	18	12	30	69	14	12	25	25	8	33	59	▲ 11
内航部門	5	5	9	6	5	11	20	2	2	4	4	4	8	12	▲ 8
経常利益	18	26	45	19	14	33	78	10	9	19	28	8	36	55	▲ 23
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	32	44	26	23	50	93	12	26	37	21	2	22	59	▲ 34

市況推移（ケープ型撒積船）



3. 活動状況

気候変動対策への取り組み

・次世代燃料船にむけた取り組み：当社は今治造船株式会社と共同で、日本海事協会よりケーブサイズバルカーLNG燃料船の設計基本承認を取得しました。国際海事機関では規制を2025年より更に強化し、二酸化炭素排出量を基準値比30%削減した船舶の建造が求められます。当社は、LNG燃料をはじめとする次世代燃料船の投入に向けた取り組みを推進してまいります。

・長期バイオマス輸送契約の獲得：木質チップやPKSなどを利用するバイオマス発電は、地球温暖化対策として期待されています。当社は外航・内航の双方でバイオマス輸送の長期契約を着実に積み重ねており、安定収益基盤の強化とともに低炭素社会実現に貢献します。

ケーブサイズバルカーLNG燃料船（イメージ）



船隊整備推進状況など

世界最大船型である“NSU CARAJAS”



・船隊整備状況：国内船社としては初めての保有・運航となる400,000トンの型鉱石専用船「NSU CARAJAS」が昨年12月に竣工。本船はドライバルクとして世界最大船型であるのみならず、省エネや環境負荷低減のための技術の結晶です。本船を含め、2019年度中に外航・内航合わせて16隻の新造船が稼働を開始し、当社グループの収益力は一層拡充されました。また、今年1月から実施された硫黄酸化物（SOx）排出規制強化への対応策として大型船を中心にSOxスクラバーを採用。新造船のほか、稼働中の船腹のうち計画した全20隻への搭載が完了いたしました。

中期経営計画

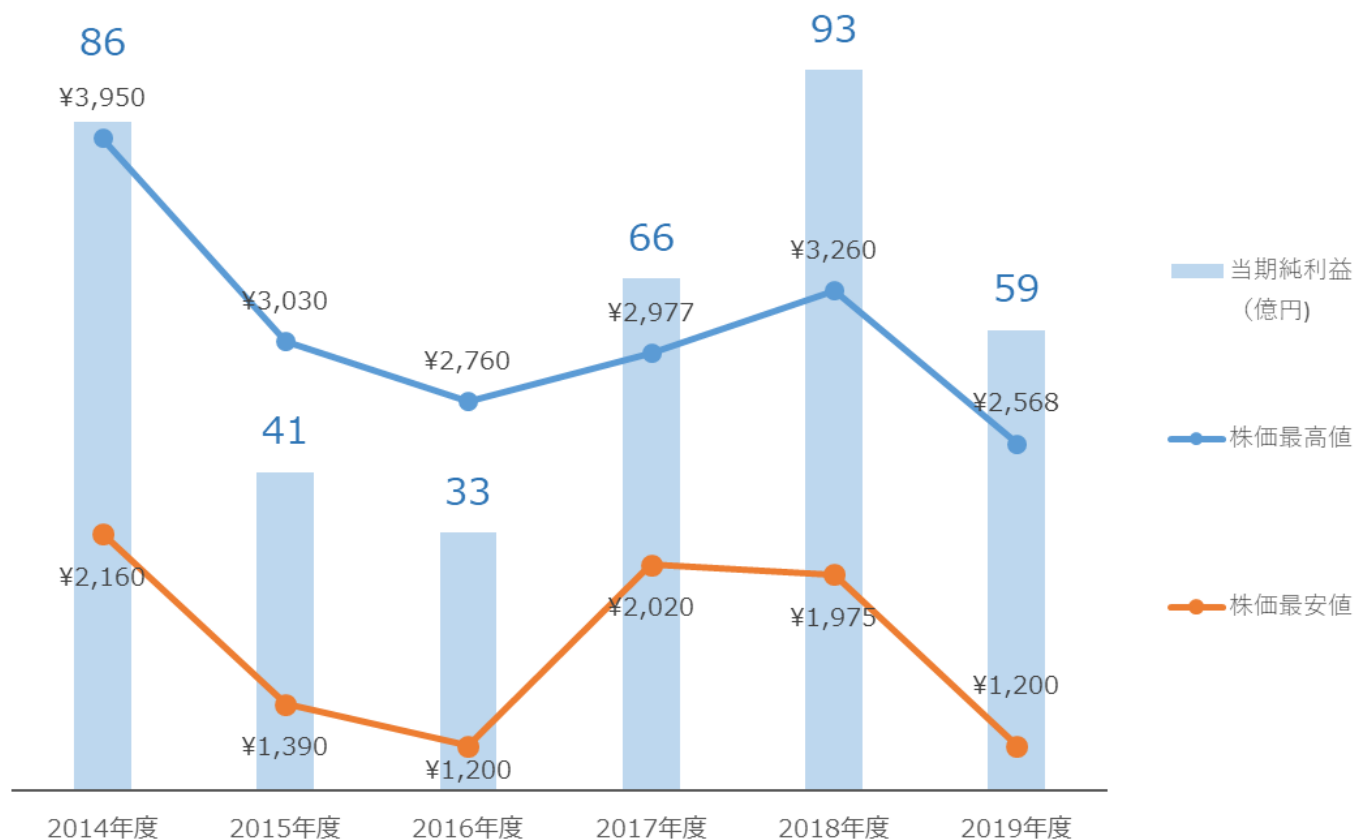
- ・2017年度からの中期経営計画『NSU 2021』では、船隊の増強やSOxスクラバー搭載などの環境対応が着実に進み、収益力についても目標とした水準にまで高めることができました。
- ・2010年10月の合併から10周年を迎えるにあたり、「次なる価値の創造」に向けた新中期経営計画の近日中の公表を予定しています。お客様へのソリューション提供とESG経営の強化を重点戦略の中核に据え、その実行を通じて、事業環境の変化に適応し収益性と社会性を兼ね備えたサステナブルな企業を目指してまいります。

(ご参考) 期末運航船舶数

船種	2019年3月末 合計	2020年3月末			19/3末比 増減
		所有	用船	合計	
鉄鋼原料船	42隻	29隻	16隻	45隻	+ 3隻
中小型バルカー	75隻	9隻	67隻	76隻	+ 1隻
LPG/原油タンカー	4隻	4隻	0隻	4隻	+ 0隻
外航船 小計	121隻	42隻	83隻	125隻	+ 4隻
内航船	80隻	21隻	51隻	72隻	▲ 8隻
合計	201隻	63隻	134隻	197隻	▲ 4隻

*運航船舶数には短期スポット用船も含まれております。

(ご参考) 当社当期純利益と株価の推移

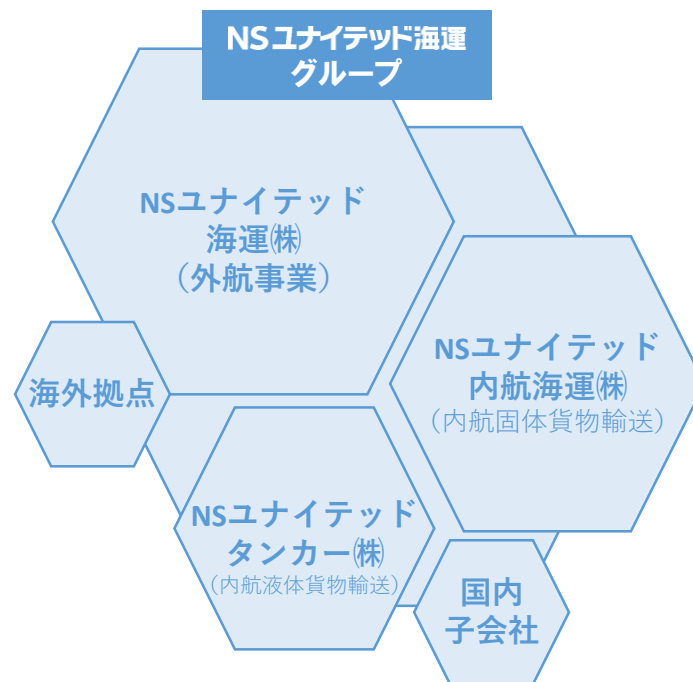


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411